

環境にやさしい「EM廃油石けん」を作ろう（固形）



天ぷら油などの廃油は、苛性ソーダ（水酸化ナトリウム）加えて反応させると廃油石けんとして再利用することができます。これに米のとぎ汁発酵液やEM-Xセラミックパウダーを混ぜると、反応速度と抗酸化力がアップし、洗濯だけでなく、肌にもやさしい良質なEM廃油石けんとして使用できます。また、EM石けんを使用した廃水は水を浄化する力があります。

材料

- 廃油・・・3.3ℓ
- 苛性ソーダ・・・500g
- EMスーパーセラ発酵C・・・100g
- 米のとぎ汁EM醗酵液の上ずみ・・・1ℓ

20～25個分

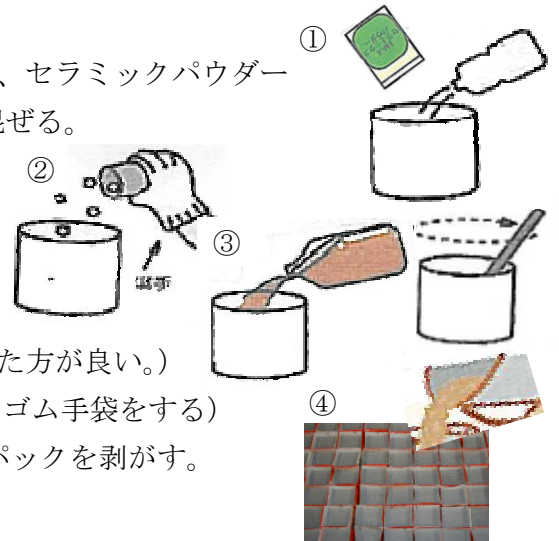
道具

- かくはん棒
- 牛乳パック
- ポリバケツ
- ジョウゴ等



手順

- ① ポリバケツに米のとぎ汁EM醗酵液の上ずみ 1ℓと、セラミックパウダー（EMスーパーセラ発酵C 100g）を入れてよくかき混ぜる。
- ② 苛性ソーダ 500g を①に入れ、棒でかき混ぜて苛性ソーダをしっかりと溶かす。
- ③ 廃油 3.3ℓを入れ 30分以上かき混ぜる。
（油が汚れ過ぎている場合は早く固まってしまうので、新しいような油と古いような油とブレンドした方がよい。）
- ④ トロみが出てきたら牛乳パックに流し込む。（必ずゴム手袋をする）
- ⑤ 固まったら（4日以内に固まる）ゴム手袋を牛乳パックを剥がす。
- ⑥ 風通しのいい日陰に1ヶ月置く。



作りたては、アルカリ性が強く肌荒れするので、1ヶ月ねかせてから使います。

注意事項

- ◎ 苛性ソーダは、劇薬なので作業中目に入らないように注意。
（苛性ソーダは印鑑を持参して薬局で購入）
- ◎ 作るときは手袋をし、肌を露出しないような服装で。
- ◎ 液が肌についたらヌルヌルが取れるまで水で流す。
- ◎ 発生する気体は有害なので吸わないようにマスクをし、風通しのいい場所で。
- ◎ 気温 20 度以上の時期に作るのが理想です。

EM石けんの使い方の例

- からだ（からだ、洗髪、洗顔、口紅、手洗い）
- 洗濯（靴下、軍手、襟汚れ、洗濯時の部分汚れなど衣類全般）
- 台所（茶碗、お皿、ナベ、換気扇、ガス台、ステンレス、布巾など）
- 住居（窓ガラス、冷蔵庫のくすみ、テーブル、雑巾洗い）
- 浴槽（お風呂水回りなど）
- その他（ズック、泥汚れ、墨汁の汚れ、洗車など）